

CPs建設領域WG

ガラスのサーキュラーエコノミーに関するヒアリング

本シートは、ヒアリングの際に、ガラスに着目したご意見を伺うために作成しています。
アンケートとあわせてヒアリング前に回答頂ければ幸いです。
業務的に該当しない項目は、その旨を回答頂ければと思います。
宜しくお願い致します。

ガラスヒアリング項目

項目①：解体現場から廃板ガラスがリサイクルできるように撤去するためには、作業に要する工期の延長、関連作業や追加資機材費などのコストUPが生じると考えています。
これらを負担するための仕組みは、どのような方法が適切とお考えですか？

建設リサイクル法で建築現場解体事業者に補助委託できる素材別回収インセンティブ制度を制定する。建築板ガラス（GMA）選別する専門のサブコンを育成して効率化を図る。

項目②：解体現場からリサイクラー等が求める品質の廃板ガラスを搬出するには、施工・品質管理などに熟知した技術者の配置が必要と考えていますが、このような技術者を配置すること必要性についてどのようにお考えですか。

GRCJでは板硝子協会様と連携して建築板ガラスGMAをセラミック骨材化の規定をJIS化する。技術者よりJISに基づいたセラミック原料化を実施するリサイクラーが品質を担保する。現場負担を少なくできる。

ガラスヒアリング項目

項目③：解体現場から排出される廃板ガラスを、リサイクルではなくリユースすることは技術的に可能ですか。
リユースできない場合、どのような技術的課題が解決されればよいですか。

解体現場の種類を分け産業用ビルディング、住宅とに分類して取り外し可能な案件を選択すれば可能。大規模現場での建築解体設計を現在の木材、コンクリート、アスファルトに次ぐ石膏ボード、塩ビ、ガラスを適切に事前解体できるようにする。太陽光パネルではリユースができています。

項目④：建設現場から排出される廃板ガラスのリサイクルを推進する場合、排出される量やリサイクラーやメーカーまでの距離により運搬費が増えることにはなりますが、このような状況の対応について検討されたことはありますか。

GRCJ GMDXプラットフォーム構築して共通組成ソーダ系ガラスの建築板ガラスGMA、自動車ガラスGMV、太陽光モジュールガラスGMPVをレイヤー別に商品化できるように地域連携（特にMETI分類北海道、東北、関東、中部北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄管内）する。商品別に混合設計して製品試作中。

ガラスヒアリング項目

項目⑤：工場がカレット業者に求める板ガラス協会様の基準がありますが、解体現場から搬出される廃板ガラスについて同じ品質基準を適用することは難しいように考えています。

解体現場から搬出される廃板ガラスの基準についてお考えがあれば、お教え下さい。

GRCJのリサイクル製品別受け入れ基準を作成している。(NEDO) 板硝子協会様も基準を見直しメーカーそれぞれが受け入れ基準を設定してハードルを下げてきているのは好ましい。水平リサイクルとその他利用リサイクルの基準を明確にすればSCOPE3の産業別ガラス収集効率も向上してCN政策に向けたミッション推進にも役立つと思う。